

みんなの議会

2017年11月
第71号



世代を こえて!

主な 内容

第3回定例会 …… 2

沼田厚生クリニックの損失助成を補正予算で可決しました。
その他、条例改正と意見書を議決しました。

辻 会長 初答弁 … 5



長が考えを示しました。

鵜野議員の一般質問「ひと・農地プラン」の情報共有化に辻農業委員会会

道内所管調査報告 8・9

総務民教常任委員会は石狩市と八雲町。産建福祉常任委員会は富良野市と他3町での事務調査をしました。

平成29年 第3回定例会

9月14日～15日

平成29年の第3回定例会
が開かれました。

上程された主な議案

◎28年度決算認定

平成28年度の一般会計及び水道事業会計の認定は、議員8名からなる決算審査特別委員会に付託されました。

委員長に高田副議長、副委員長に大沼議員を指名し、10月19日から24日まで決算審査が行われました。

◎29年度一般会計補正予算

〈主な内容〉

○町立沼田厚生クリニック
損失助成

5839万円

地域医療確保安定化基金
より繰入



町立沼田厚生クリニックと安心センター

○地域密着多機能型

総合センター運営経費

102万円

○観光費修繕料

町内観光案内看板の補修

15万円



駅前の観光案内看板

○スキー場管理経費

46万円

リフト緊急停止リミット
装置の交換

○振興基金積立

144万円

旧法務局跡地売却収入

◎条例改正

○乳幼児等医療費
一部改正

○町村議会議員公務
災害補償等組合規
約の変更

○北海道市町村総合
事務組合と職員退
職手当組合規約の
変更

第3回臨時会

8月10日

一般会計補正予算

・企業誘致等推進経費
64万円

・総合通所サービスセンター費
277万円

表紙の写真



10月28日に開かれた吹奏楽部5周年記念ハロウィンコンサートの様子。

小学校のブラスバンド、中学校の吹奏楽、B B B B全員で最後に演奏しました。



一般質問にのぞむ杉本議員

議決された意見書

林業・木材産業の成長産業化に向けた 施策の充実・強化を求める

1. 「森林環境税（仮称）」の早期創設
2. 森林整備事業及び治山事業の財源確保
3. 森林整備から木材の加工・流通、利用までの取組に対する支援措置の充実・強化を求める。



「全国森林環境税」の創設を求める

平成29年度税制大綱において、市町村が主体となって実施する森林整備などに必要な財源を充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする「森林環境税（仮称）」の創設に関し、平成30年税制改正において結論を得ると明記されたことから、森林・林業・山村対策をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を求める。

軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める

軽油引取税の課税免除特例措置が、平成27年索道事業者の強い要望により3年間の延長措置が認められ、平成30年3月末での適用期限を迎える。

索道事業では、スキー場のゲレンデ整備に使用する圧雪車の燃料、除雪機の動力源として使用する軽油について免税となっている。

当町内のスキー場においても、安全・安心かつ快適なゲレンデを提供するための雪面整備に圧雪車を使用しており、軽油引取税の免税措置は不可欠となっている。

索道事業者、農林水産事業者、鉱物採掘事業者など幅広い産業への経営が圧迫される。地域産業の衰退を招くことのないよう、軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める。



今回の定例議会の傍聴者は、**20名**でした。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

町長への一般質問

問 社会福祉協議会の運営に

関与しては

答 事業遂行が出来るように支援して行く



雄 邦 本議員

問 本町の社会福祉協議会は、デイサービスの指定管理として、通所介護事業の分野で重要な役割を担っています。従来は旭寿園に併設されていたが、あ

んしんセンターの設置にもない、事業展開の環境が変わることになります。同協議会は近年、過去の積立金を取り崩し、厳しい経営環境にあり、積立残高も僅かになっています。指定管理期間内で状況の変化があつた場合、町は指定管理者と協議を行い、安定経営が出来るように努めるべきではないのか。

勤務している臨時職員の賃金待遇も、近隣他町と比較し劣っており、介護人材の流出が見られます。

町は社会福祉協議会の運営に積極的に関与するべきで、これらをどのように改善して行くのか。



本町のデイサービス事業は、過去



あんしんセンター内部

に社会福祉協議会より300万円を二年にわたり寄付をしていただき、福祉基金として所有しています。あんしんセンターの開設に合わせ、リハビリ対応などの機能が強化されます。

利点を活用しての改善計画を担当者ベースで協議しています。

問 町融資を増額して

商工業者の支援を

答 商工会と連携し措置をしていく



勲 田 議員

問 沼田町中小企業特別融資(町融資)は、町

による利子補給や保証料の補填があり、近隣の市町より手厚い支援を受けています。本町の商工業の発展、近代化に大きく貢献しており、商工業者や商工会も日頃より感謝をしています。全体で1億5000万円

賃金などの待遇は、社会福祉協議会の運営状態が良くなれば、改善されると考えます。現在も人的派遣を

しており、専門職の派遣も視野にあります。安定した運営が行われ、事業遂行が出来るように、基金の活用も含めて支援していきます。

の融資枠で運用されているが、現在残りの融資枠が1000万円ほどになっています。年末や年度末を控え、このままで行くと借りたいときに借りられない、運転資金の借り替えが出来なくなる状態が予想されます。

商工業者には金融支援に関する施策が少なく、町融資制度に頼りがちです。

預託金を増額し融資枠を増やして、商工業者に対する経営支援が出来ないか。



この制度は商工業者にとって、有利な保証貸し付けになっています。昨年、大きな設備資金の需要が2件あつたため、融資実行率が93%を超える状態になっています。

現在は新規借入れの問い合わせは無いと聞いていますが、緊急の状態に備えるためにも、12月の補正を含めて対応していきます。

来年度予算での対応も必要であるとの認識を持っています。商工会や北空知信用金庫とも連携をとりながら、商工業者の方が困らないような対応をしていきます。



駅前通商店街

**問 全国ワースト4位
「水道クライシス」どう考える**
答 公平な数値の議論が必要



久保元 宏
議員

器具の使用期限を迎えたメーターの交換が例年より多かった事、有収率を上げるために行った漏水調査により修繕費が多かったからです。

さらに、他の町と比べて管路の延長があり、この決算数値が悪かったと理解しています。

利益剰余金があるのは近隣では沼田町だけですが、こうした数値は反映されていません。

総合的に考えると水道事業は経営として健全と考え

町長はこの数値と報道をどう判断するのか。
一般財源の投入による水道料金の値下げは考えないのか。

これは27年度の単年度の数値です。經常収支率が悪かったのは、



ます。
水道料金については計画給水人口の負担率の見直し

が平成32年ですので、その時に、この議論ができると思います。

問 「ひと・農地プラン」の情報の共有化が必要では
答 農業振興計画において、位置付けて協議を開始



之野 範
議員

地確保をどう考えていくのか。これらを含めた、流動化の考えを聞きたい。



今年「ひと・農地プラン」で調査

問 今年もたくさん農地の斡旋が予定され、今後は増えると考えられます。

5年間で斡旋される面積は約半数と予想しています。一戸当たりの経営面積は25

畝を超える事になります。この農地流動化は差し追った状況と認識しています。「新規参入推進事業」は現在2名で、新たに1名が加

わる予定です。農業研修を

問 弾道ミサイルが飛来した時の避難方法は

想定していません。沼田町には避難できる建物はありません。

農業委員会会長

受けた後、どのような経営にするのか、農地の確保がないと出来ないもので、具体的に検討して行く必要があると考え、協議を開始しています。

現在の農家戸数は165戸で、60歳以上で後継者のいない方が34戸です。

今後、更に規模拡大を考えている方が60戸あります。それを上手くマッチして行けば、向こう5年間は流動化を進めていけると考えています。

地区内の農地の斡旋については情報の共有によりスムーズな流動化が出来るように努力したいと考えます。



答弁する辻新会長

問 巡回バス実証運行終了後は

答 速やかに検証し対応したい



小 峰 聡
議員

どういう対応を考えているのか聞きたい。



市街地の巡回バスは、町民がどの

問 現在、「厚生クリニック」から「まちなか」を含めて、市街の中を巡回バスが実証運行していますが、一般行政報告に、市街地巡回バスについて現状の報告がありました。10月2日には、暮らしの安心センターがオープンして、人の流れが変わると思います。既に町民から改善の意見も出ていると思いますが、現状は実証運行であり、11月30日までと期間が区切られています。それ以後は、冬に向かい一層お年寄りには、巡回バスの必要性が出てくると思います。実証運行終了後、

ように利用できるか調べる実証運行です。その状況については、行政報告の中にある通りです。ただ、現時点では、土日の利用者が極端に少ない、午前中の利用者が殆どである、利用されていないバス停があるなど



町民に根付きつつある巡回バス

現状把握に努めているので、今後、10月にオープンして、利用者も増える事を期待しています。

冬期間も必要だと理解していますが、冬期間になるとタクシースケッチが利用出来るので、それらとの関係も充分に把握しなければ

を聞きたい。



この制度は、平成27年に成立し、

ならないと考えています。11月30日で試験運行が終わるので、速やかに検証をし、冬の運行について、議会と相談したいと考えています。費用も当然掛かるので、充分な町民の意見と実績も踏まえて、前向きに検討していきたい。

問 国保の国庫支出金を上げるべき

答 現行の制度で進めたい



橋 場 守
議員

問 国民健康保険制度が道に移管されます。国民健康保険は、自営業者、年金生活者、失業者、派遣労働者などが加入しています。一番不安定な収入の人達の生活を守ると言う事が必要だと思えます。その為には国が独自の国保に対する交付税を増やす必要があります。昭和55年には国保全体に占める国庫支出

金の割合は57%でした。その後、平成21年には、24%まで下げられました。これを元に戻す要求運動が必要だと思います。また、国保保険料は均等割、頭割りで税金を払う仕組みを、改善する必要があると思います。町長の考え

30年に向けその準備が進められています。昨年度の医療費も47兆円と過去最大の医療費になっています。社会保障制度全体の介護保険、医療費も含め、抑制を図る事が大切です。国、国民の負担も考えた上で、今の制度が成り立っていると思えます。制度の趣旨にのっとり、上手く運用される様、監視していく必要があると思っています。応能割、均等割の制度は変えることにはならないと思います。検討したいと思いますが、今すぐ変える考えはありません。

橋場議員のその他の質問

問 窓口業務を外部委託できるように一部改定されたことについて所見は

答 現状のままで対応したい

問 北朝鮮に抗議し、対話を国に要求すべき

答 それぞれの立場で平和になる努力をしていると思います

要望の内容

農林水産省

- ・ 農業の振興及び農業農村の整備
- ・ 自由貿易協定等に対する対応

厚生労働省

- ・ 地域医療体制の充実確保

国土交通省

- ・ J R北海道の経営再建支援

北空知議会議長連絡協議会による 中央要望活動が行われました

8月7日から9日の日程で、北海道選出の国会議員と中央省庁に要望活動を行いました。本町からは高田副議長(団長)・杉本議員(団員)・三浦事務局長(随行事務局)が参加しました。



国土交通省の築政務官にJR支援を要請

この要望活動実行団は北空知の1市4町から、2名ずつ選出された議員10名と事務局長2名で構成されています。

その時々々の地域が抱える課題を、国会議員や中央省庁に直接届け、地域の実情を理解していただくために毎年行われています。

初日は練馬区役所で、介護人材の育成と確保のテーマで研修を行いました。

二日目には渡辺孝一・稲津久衆議院議員をはじめ、道内選出の参議院議員に要望書を提出しました。その後、農林水産省・厚生労働省にて地域の実情を訴え、意見交換を行いました。

議員セミナー【9月4日】

沼田にない子供の施設を視察

秩父別町「キッズスクエアちっくる」は平成29年4月オープン施設の床面積は600㎡で屋内の遊び場です。

北海道最大級のネット遊具は2階、3階建ての構造になっていて遊び方は子供たち次第で自由でした。



ネットの上で自由に

トランポリンやチューブスライダーもあり、子供たちが安全に、元気に立体的に遊べる空間でした。



農林水産省での意見交換

妹背牛町「カーリングホール」は平成15年12月オープン施設です。

23M×48Mのアーリーナ内では、4面のカーリング場を持っています。

カーリング競技を通じて健康体力づくりの推進を目指しています。

5月から9月までは夏のホールとして、「はだして遊ぼう」をモットーにふわふわドームをメイン遊具に子供たちの遊び場として使用します。



はだして遊べるふわふわドーム

本願寺駅通を視察



明治33年から「駅通」として札幌、留萌、旭川を結ぶ交通の拠点になりました。

2階正面、縦しげ格子の出窓は「セガイ造」と呼ばれ国内で2軒、道内では1軒しか現存しない貴重な建物です。昭和46年に北海道の指定文化財になっています。

総務民教常任委員会 道内調査報告

施設のトータルマネージメント

石狩市・八雲町

7月13日～14日

沼田町は今年、商業と福祉の施設を2つ新築しました。これらも含む全施設を活用した町民サービスの充実が期待されます。同時に、人口減少により町民一人当たりの施設の総床面積が増大します。使用目的や時代のニーズに合わなくなるなどで、施設の利用率が低下する傾向にあります。今後、沼田町の全施設の

更新は不可能である。課題はどの施設を更新し、どの施設を廃止するか判断と、その根拠に基づく町民の合意形成が必要です。今回、「公共施設マネージメント」の先進地である石狩市と八雲町を視察しました。期間を決めて総床面積の20%、40%の削減に取り組んでいました。これらを取り進めるための町民との合意形成や計画策定のなどの手法を学んできました。

石狩市

基本方針

ハコモノ公共施設とインフラ施設に分けた。計画期間20年。

*ハコモノ

- 人口減に合わせて施設の総床面積の20%縮減→施設の複合化・集約化・廃止・統廃合1年に1%ずつの減少。
- 新規の単独施設の整備はしない。

*インフラ

- 目標値を掲げず、独立採算を原則とする会計とし、一般会計の支援を前提としない認識。インフラ維持には料金に反映させる可能性を示した。

今後の実施計画

- 学校施設の統廃合など、公共施設の適正配置を進める。(学校教育施設41.3%)
- 遊休資産の売却
- コミュニティセンター・地区館の統廃合の理解。サービスの提供方法、使い方を変えなければ、管理する施設は減らせない。大きな施設(校舎)は維持コストが大きい。水道施設から児童館、図書室に用途変更。

八雲町

基本方針

- 建物公共施設とインフラ施設に分けて検討。計画期間30年とする。
- 平成58(2046)年度までに公共施設の延べ床面積を40%削減

今後の実施計画

- 地域会館▶老朽化の著しい施設は統廃合、解体 (削減目標60%)
- 学校教育施設▶児童数に合わせて更新時に縮減、統廃合 (削減目標45%)
- 体育施設・教員住宅▶民間委託、規模の縮減 (削減目標60%)
- 町営住宅▶維持管理費を考慮し、戸数を調整 (削減目標40%)



産建福祉常任委員会 道内調査報告

沼田農業の展望

美瑛町・富良野市・音更町・芽室町

10月11日～12日

昨年より沼田農業の展望について調査してきました。将来一戸当たりの経営面積が増えることから、人材派遣に頼るだけでは作業がこなせないと考えられます。労働力確保のために農作業ヘルパーや農作業のパート確保、農福連携、六次産業化に取り組んでいる所を調査してきました。

JA美瑛営農部経営指導課
美瑛通運への業務委託

10月11日 美瑛町 派遣事業の許可を取っている美瑛通運が運営しており、インターネットで募集広告を出して札幌事務所でまとめ、電話面接をして採用している。水稲、トマト、アスパラ、ブロッコリーなどの作業が主で、全国から北海道にあこがれて農業に取り組みたい人が美瑛に来ている。町の宿泊施設などを利用して住んでいるが、現在は22名分しか確保できていない。



10月11日 富良野市 平成8年に旧富良野農協でレタス、ミニトマト、アスパラなどで労力不足になり道外の若い人たちを募集したのが始まりで現在は男性40名、女性80名の合計120名が在籍している。富良野市の農業体験者滞在施設に宿泊して農作業をしている。アルバイト情報誌やインターネットに広告を出し、宮城、東京、名古屋で説明会を開いている。愛媛、沖縄の農協と広域連携し、お互いの地区に出向いて説明会などを行っている。

(株)アグリプラン
JA富良野グループ

JA木野無料職業相談所
JA木野企画振興課

10月12日 音更町 市街地の中にある農協で、新たな農業政策の品目横断的経営安定対策が必ずしも組合員の収入増加につながらない状況から、高収益作物の導入に力を入れた場合、労働力確保が必要になることがきっかけで設立された。音更町や帯広市などに新聞広告を出して募集しており、主婦や定年退職した方などが多い。88名登録しているが60名程度が実働している。



10月12日 芽室町 総菜を製造販売しているクックチャムグループの出資会社で、農福連携を基礎に芽室町でできた農産物を、クックチャムへ販売している。また町内で「ばあばの昼ご飯」という食堂を運営しており、栽培・加工・調理接客などの仕事をとおして障がい者の自立を目指している。町の助成金はないが人的支援などでサポートしている。

(株)九神ファームめむろ

退任議員親睦会総会 10月6日

退任議員親睦会（山木一男会長）総会が開かれました。

パークゴルフが行われ交流を深めた後、ほたる館で総会、懇親会が開かれました。

懇親会ではパークゴルフの成績発表が行われ楽しいひと時でした。

今後ともご指導よろしくお願ひします。



もっと読みやすい紙面を 8月22日

議会広報特別委員会

「議会がもっと身近になる広報誌づくりへ」と題して、全道町村議会広報研修会が札幌で開かれました。

タイトルの重要性、文字の形、大きさや配色、写真の配置を学びました。

みなさまに親しめる紙面づくりに努力します。



みんなの広場

農地利用の最善化と農業所得の向上を目指して



沼田町農業委員会会長 辻 則 行

農業委員の任期満了に伴う改選によりまして、山岡禎弘前会長の後を引き継いで沼田町農業委員会の会長職務に就任いたしました。

昨年4月に施行されました農業委員会改正法によりまして、昭和26年より66年間続いてまいりました農業委員の公職選挙法による選任から市町村長が議会の承認を得て行う任命制度への改正となり、初めて選ばれた12名のメンバーとなりました。選任法の改正はあっても農業委員会の業務は何も変わるものではなく、農地なくして国民の生きる糧である食料の安定供給は確立できません。「食」を支える農地を守り、活かす担い手の育成対策こそが農業委員の使命だと考えております。

本町におきましても人口の減少や高齢化は進み、農業者人口もここ半世紀の間に7分の1に減少しました。このことは今後の農地流動化にも大きな影響を及ぼします。農地を守る担い手の育成や経営体の確立は急務であり、最善を尽くさなければなりません。効率よく作業を行うことや作物の品質・収量の向上を目指して土地改良区で行われている基盤整備事業を始めとして、水稻直販栽培の技術革新、GPS機能付き機械の導入や受信基地局の整備、商工・農の連携による6次産業化の推進、新規就農・第三者継承などやるべきことは目白押しであります。

若い農業者が将来に向けて希望の持てる沼田農業の確立を目指し関係機関との連携の元努力してまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

あとがき

今年も農作物の収穫が終わりもうすぐ冬が参ります。水稻の収穫は6月の低温が影響したのか個人差が大きくなったようで、収量の差や、品質の差があったようです。農家にとって良かったのは比較的小コメの値段が高かったことです。全国的に平年作でしたが国内需給がひっ迫して高値に推移し、加えて北海道米の人氣が高いのが要因らしいです。農家にはよかったです。消費者にとっては少しでも安いほうがいいです。ですね。それでなくてもいろいろ値上がりしているのですから。

来年から農業政策が変わり小コメの値段が今のままでも農家の所得は減ります。農家の所得も維持できて消費者の生活も維持できる政策を、新しい政府に期待し要望していきたいと思えます。

広報特別委員

- 大沼恒雄 高田 勲
- 小峯 聡 長原 誠
- 鶴野範之